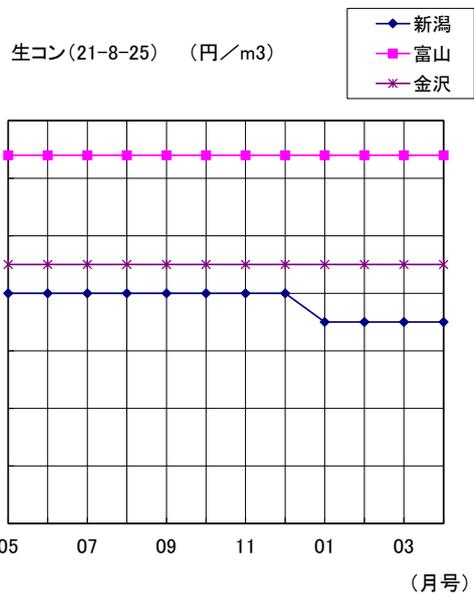
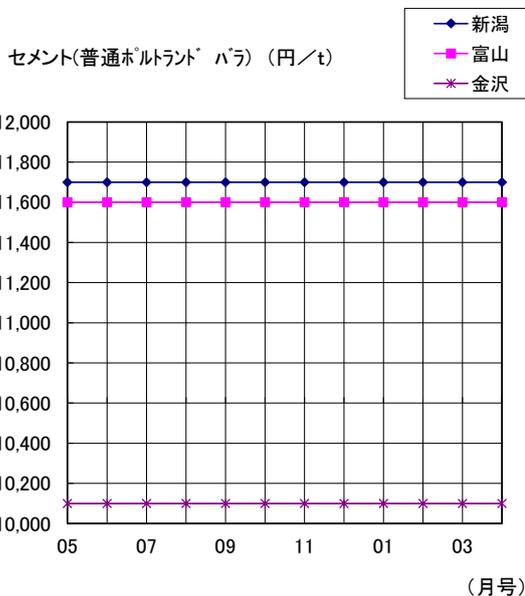


5. 主要建設資材の市況

記事提供：(一財)経済調査会 北陸支部

品目	1～3月期の状況と現況	先行き
セメント	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】上越地区の上信越道拡幅工事向けの需要も最盛期を過ぎ、県内全体に荷動きは盛り上がりを見せ、メーカー各社は、足並みを揃えて4月からt当たり1,000円の値上げを打ち出しているものの、需要者へ価格改定背景の状況説明に終始し、価格交渉が本格化するまでには至っていない。こうした中、新潟地区の生コンクリート価格が大幅に下落したことから、大口需要者の生コンメーカー側では、セメントの値上げに対しては様子見ムードの強く、当面、横ばいで推移すると見る向きが多い。</p> <p>【富山県】メーカー各社は、4月からの値上げ実施を発表し、大口需要者である生コンクリート及びコンクリート二次製品メーカーへ個別に説明を行い、理解を求めている。大多数の需要者においては平成30年度の製品価格の動向に不透明感が強いことから、具体的な価格交渉までには至っていない。目先、横ばい推移しよう。</p> <p>【石川県】石炭価格や物流コストの上昇を理由に、セメントメーカー各社が、4月よりt当たり1,000円の価格引き上げを表明している。こうした中、大口需要者である生コンメーカー側は、需要の低迷を背景に難色を示しており、交渉には時間を要する見通し。目先、横ばい。</p>	<p>(パワ)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>
生コンクリート	<p>新潟地区で軟化</p> <p>【新潟県】新潟地区では、公共物件の荷動きが乏しいことから、民間の中規模物件において販売側の受注競争が集中している。需要者側も価格優先の購買姿勢が強いことから、価格は安値寄りに推移。さらに、大手組員が4月より協組脱退を表明したため、販売者間の競争は激しさを増し、市況は大幅に軟化。4月以降、m3当たり2,000円の下落を示している。先行き、弱含みの公算大。</p> <p>【富山県】原材料であるセメントおよび骨材のメーカー各社が4月から値上げを唱えている。これを受けて、生コンクリートメーカー側ではどの程度価格が上昇するかを見極めたい意向もあり、各地区の協同組合は今のところ具体的な価格改定を発表していない。また、富山生コンクリート協同組合と高岡地区生コンクリート協同組合の両協組に加盟している大手組員が4月から組合を脱退しており、今後の動向が注目される。目先、横ばい。</p> <p>【石川県】需要は、南加賀地区で北陸新幹線の延伸工事向けに好調な荷動きが見られるものの、金沢、能登地区では官民ともに商いは閑散としており、出荷量は前年度割れのメーカーが目立っている。こうした中、羽咋・鹿島地区生コンクリート協同組合で価格見直しを検討する動きが見られるが、需要減少が足かせとなり、具体化するまでには至っていない。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。</p>	<p>(21-8-25)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>
骨材	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】新潟地区では、生コンクリート市況が下落を背景に、販売側ではコンクリート用骨材への値下げ圧力が強まることに警戒感を強めている。こうした中、運搬費及び採取コストの上昇で収支が悪化していることから、現行価格維持が必須との姿勢を崩していない。路盤材については、バイパスの舗装工事向けに荷動きが見られるものの、市中には景況感はなく、販売側は需要見合いの生産により価格の維持を図る構え。当面、弱基調で推移しよう。</p> <p>【富山県】富山県骨材販売協同組合では、4月より骨材全品目についてt当たり300円の値上げを打ち出している。大口需要者である生コンメーカー側の抵抗が予想以上に強かったことで、強硬に交渉を進めることによる需要者との関係悪化を懸念する組員がいる一方、強気の姿勢を崩さず予定通り実施すべきとの声も聞かれる。目先、横ばい推移の見通し。</p> <p>【石川県】いしかわ砂利販売協同組合協組では、運転者不足と物流コストの上昇を理由にコンクリート用骨材の値上げを表明している。同組合が供給するエリアのうち、南加賀地区では北陸新幹線延伸工事向けの好調な需要に支えられ、一部で値上げの浸透がみられるが、地区全体の市況の底上げには至っていない。目先、横ばいで推移する見通し。</p>	<p>(C-40)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>

【価格推移】



品目	1～3月期の状況と現況	先行き
棒鋼	<p style="text-align: center;">3県強含み</p> <p>【新潟県】鉄屑価格の上昇を背景に、製販ともに販売価格への転嫁を急いでいる。新潟地区では、荷動きは冴えないものの、販売側は強硬な売り姿勢を堅持。価格は、1月にt当たり4,000円、2月に同2,000円の上昇を示した。原料価格が引き続き高値圏で推移していることから、採算確保を優先しているメーカー側では、更なる値上げを目指して売り腰を引き締めていく構え。先行き、強含みで推移する公算が大きい。</p> <p>【富山県・石川県】鉄屑価格が強基調に推移していることに加え、副資材および運搬費が値上がりしていることを理由に、メーカー側は値上げを実施。流通筋は、採算悪化への懸念から末端価格に仕入れ上昇分を転嫁すべく売り腰を強めた結果、1月にt当たり3,000円、2月にt当たり2,000円の上昇を示した。需要者側の購買姿勢は厳しいものの、メーカー側は更なる上値を目指す意向。先行き、強含みで推移しよう。</p>	<p>(異形棒鋼)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>
コンクリート二次製品	<p style="text-align: center;">横ばい推移</p> <p>【新潟県】荷動きは、総じて鈍い状況が続いている。原材料の鋼材価格の値上がりと運搬コストの上昇により現行価格では採算維持が厳しいとの判断から値上げに踏み切ったメーカーも見られるが、需要環境が好転しない中で価格交渉の機会は乏しく、値上げ浸透も時間を要するとの見方が大勢。当面、現行価格を横ばい推移しよう。</p> <p>【富山県】年度末においても需要は盛り上がりや欠く展開が続き、荷動きは低調に推移。販売側では、平成30年度は目ぼしい新設道路工事の見通しがいいことから、農業用製品の需要へ期待を寄せている。セメントや骨材等が値上がりした場合、製造原価の上昇が避けられないことから、メーカー側では安値受注を回避するために、足並みを揃えて需要者の厳しい指し値に応じない姿勢を強める構え。先行き、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】官民ともに引き合いは低調に推移する中、鋼材等の材料価格の値上がりや物流コストの上昇が続いていることや、構造的な需要環境の変化による収支悪化を是正するために、販売側では4月からの新規発注分について値上げを唱える動きも見られた。しかし、値上げに向けたメーカー各社の足並みは揃わず、需要者との交渉は平行線。目先、横ばい。</p>	<p>(道路用製品)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>
アスファルト合材	<p style="text-align: center;">横ばい推移</p> <p>【新潟県】主原料であるスト・アス価格の上昇に加え、出荷量が伸びずに採算の悪化を懸念するメーカー側では、まずはスト・アス上昇分を混合物価格に転嫁して収支改善を図りたいとの意向を示している。しかしながら、需要者の購買姿勢が厳しい中で売り腰を強めるには至らず、現行価格の維持が精いっぱい。先行きも現行値圏内を横ばいで推移する公算が大きい。</p> <p>【富山県】メーカー各社は、主原料であるスト・アス価格の上昇分を混合物価格に転嫁したい意向を見せている。しかし、一方では出荷量確保優先の指向もあり、価格改定に踏み切ったメーカーは一部にとどまっている。4月以降、さらに原材料価格の値上げも予想されることから、現行販売価格では採算悪化が避けられないと危機感を強めている。目先、横ばいで推移しよう。</p> <p>【石川県】主原料であるスト・アス価格の上昇を背景に、一部のメーカーは混合物価格の値上げを打ち出している。需要は、公共物件が下支えにはいるが、ホテルや商業施設駐車場等の民間物件の陰りが目立つこともあり、総じて精彩を欠いている。そのため、価格引き上げに対する需要者の反応は鈍く、当面需給双方の綱引きが続く見通し。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。</p>	<p>(粗粒-20)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>

【価格推移】

